

食料生産地域再生のための先端技術展開事業

東日本大震災の被災地域を新たな食料生産地域として再生するため、宮城県内に「農業・農村型」、岩手県内に「漁業・漁村型」の研究・実証地区を設け、先端的な農林水産技術を駆使した大規模な実証研究を実施。

公募領域	<p>◇農業・農村型実証研究</p> <p>(1)土地利用型営農技術の実証研究 (2)大規模施設園芸等技術の実証研究 (3)果樹園芸技術の実証研究 (4)高付加価値化を支援する食品加工技術の実証研究 (5)省エネかつ災害に強い農村(スマートコミュニティ)のあり方に関する研究</p> <p>◇漁業・漁村型実証研究</p> <p>(1)天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・技術実証 (2)地域資源を活用した省エネ・省コスト・高付加価値型の水産業・水産加工業の実用化・実証研究 (3)自然エネルギーを利用した漁村のスマートコミュニティ化技術実用化・技術実証研究</p>
対象者 (資格等要件)	<p>◇民間企業、大学、都道府県の公設試験場、独立行政法人試験研究機関等</p> <p>◇単独又は複数機関(研究グループ)による応募</p>
委託率	定額【〇年以内、上限額:〇千万円/年】
募集時期	平成24年下旬 ※e-Radでの受付
課題選定方法	外部専門家等によるヒアリング審査を実施。(必要に応じて書面審査を実施) 審査結果を踏まえ、技術会議事事務局において、採択課題を決定。

○研究課題公募方針

- ◇各領域毎に公募を実施
- ◇公募する研究課題の単位
 - (1) 技術的課題全般を網羅した技術を提案する研究計画書【網羅型研究】
 - (2) 技術的課題の個別要素技術を提案する研究計画書【個別要素技術研究】
- ◇審査は「網羅型」、「個別要素技術型」毎に実施し、それぞれにおいて採択課題を選定

